

# 平成 27 年度 意見交換会事例集

平成 28 年 3 月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

## 目 次

趣旨	..... 1
意見交換会の種類	..... 1
意見交換会の開催の流れ	..... 2
平成 27 年度の意見交換会（まとめ）	..... 5
平成 27 年度の意見交換会（個別事例）	..... 6

## 趣 旨

「やまぐち食の安心・安全推進協議会」は、「山口県食の安心・安全推進条例」に基づき、県、市町、食品関連事業者及び県民が連携して、食の安心・安全に向けた取組を展開していくことを目的に平成21年9月に設置されました。

平成24年度から、食品のリスクを考える意見交換会を開催しており、今後の意見交換会の参考としていただくため、平成27年度の意見交換会の開催状況（全13回）を取りまとめた事例集を作成しました。

## 意見交換会の種類

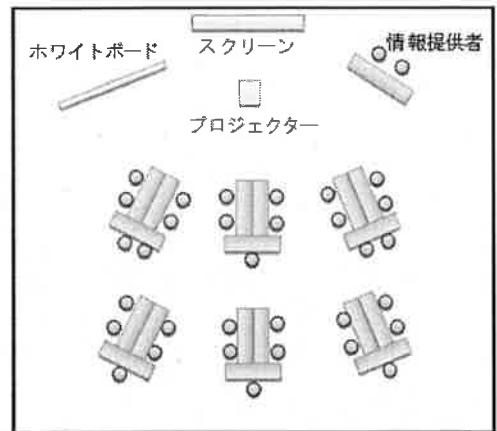
### 1 ワークショップ

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。

（各グループに討議の進行役（ファシリテーター）を配置）

プログラム例（所要時間：3時間30分）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

#### ※アイスブレイク

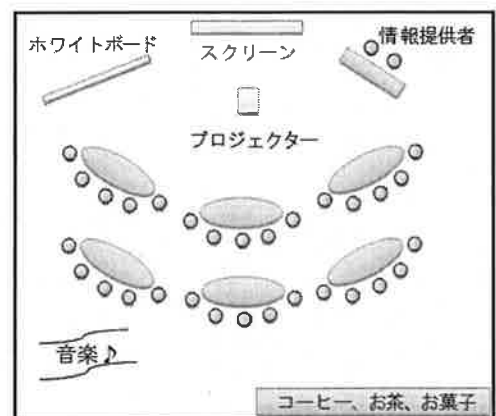
氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

### 2 サイエンスカフェ

カフェのような気軽な雰囲気の中で、専門家などからなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は茶菓を喫食し、質問や意見を自由に出して、知識や視野を広げる。

プログラム例（所要時間：2時間）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

## 意見交換会の開催の流れ

### ◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
  - ・開催希望日の2か月程度前までに提出する。
  - ・開催時間は、基本的には、サイエンスカフェは2時間、ワークショップは3時間30分程度とする。
  - ・参加人数は20～40人程度とする。
  - ・未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。  
(参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。)
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
  - 〔ワークショップの場合は、参加者からファシリテーターを選定し、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行う。〕

### ◆開催当日

- 1 開始1時間～30分前から会場設営を開始する。  
(参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。)
- 2 開始30分前から参加者の受付を開始する。
  - 〔ワークショップの場合、ファシリテーターの打ち合わせを実施する。〕
  - 〔サイエンスカフェの場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。〕

### ◆準備品について

開催当日に以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
パソコン	1	生活衛生課
プロジェクター	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
スクリーン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
延長コード	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
マイク	2	開催希望団体（開催場所にあれば使用）
ホワイトボード	1	開催希望団体（開催場所にあれば使用）
配布資料	参加人数分	生活衛生課
ワークショップの場合 模造紙 カラーマジック 大判ポストイット セロテープ サインペン	グループ数+ $\alpha$ グループ数+ $\alpha$ グループ数+ $\alpha$ グループ数+ $\alpha$ 参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体
サイエンスカフェの場合 茶菓 質問用紙 サインペン セロテープ	参加人数分 参加人数分×3枚程度 参加人数分 1	開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体

【提出先】 山口県環境生活部生活衛生課 行

別紙 1

(FAX : 083-933-3079、E-mail : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp  
TEL : 083-933-2974)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX 番号	
メールアドレス	

○意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第2希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第3希望 平成 年 月 日 ( : ~ : )
場所	○開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ( )
テーマ	○いずれかを選択ください。 有害微生物による食中毒の予防 (ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他 ( ) ) 食品表示、食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE (牛海綿状脳症)、最近の食に関する話題、 一問一答 (事前質問に回答)、事業者の自主的な取組 (事業者との意見交換)、 その他 ( )
形式	○いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、その他 ( )
参加人数	○貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 ( 人 ) ○参加者の公募について、記載してください。 公募する ( 人程度 )、公募しない
情報提供者	○希望があれば記載ください。 ( )
その他 (要望等)	

## グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		
F		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

平成 27 年度の意見交換会（まとめ）

<平成 27 年度の開催結果>

意見交換会の開催回数	14 回
参加人数	531 人

<意見交換会一覧>

No.	形式	開催日	場所	共催団体	テーマ	参加人数
1	サイエンス カフェ	5 月 19 日	長門市	長門農山漁村女性団体連携会議	食中毒予防等	30 人
2		6 月 24 日	下松市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品表示	40 人
3		9 月 3 日	山口市	山口県生活協同組合連合会 生活協同組合コープやまぐち	食品表示	30 人
4		10 月 7 日	岩国市	山口県地域消費者団体連絡協議会	輸入食品	25 人
5		10 月 21 日	周南市	J A 周南女性部西ブロック支部	輸入食品	56 人
6		12 月 17 日	柳井市	柳井広域消費生活問題実行委員会	放射性物質	33 人
7		1 月 27 日	周防大島町	山口県地域消費者団体連絡協議会	輸入食品	30 人
8	セミナー	10 月 15 日	山口市	山口県行政書士会	食品衛生	17 人
9		11 月 17 日	防府市	山口県農業大学校	食品表示	73 人
10	パネ ルディス カッション	11 月 6 日	山口市	山口県食品衛生協会	食品表示	102 人
11	工場見学	11 月 19 日	宇部市	山口県食品ロス削減推進協議会	食品ロス 食品衛生	20 人
12		11 月 12 日	周南市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品衛生等	24 人
13		11 月 20 日	山陽小野田 市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品衛生等	24 人
14		11 月 27 日	山口市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品衛生	27 人

意見交換会事例

No. 27-1

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 5 月 19 日 (火) 14:30~15:30		
場所	日置農村環境改善センター (長門市日置上 5880-1)		
共催団体	長門農山漁村女性団体連携会議		
テーマ	食中毒予防と異物混入防止について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	30 人	参加者公募	無し
プログラム	<p>14:30 開会・オリエンテーション</p> <p>14:40 情報提供 「食中毒予防と異物混入防止について」(30分)</p> <p>15:10 休憩・質問カードの記入(5分)</p> <p>15:15 意見交換(15分)</p> <p>15:30 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>長門農山漁村女性団体連携会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備(プロジェクター、スクリーン、マイク)</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備(パソコン 等)</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な情報提供だけでなく、聴講者の参加型となっているのがよい。</li> <li>・テーマが身近で分かりやすい。</li> <li>・自分の団体でもイベント等で炊き込みご飯を提供するので、十分に気をつけているつもりだったが、今日の話聞いて、「ヒヤリ」とすることがいくつもあった。</li> </ul>		



## 意見交換会事例

No. 27-2

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 6 月 24 日 (水) 14:00~15:30		
場所	ほしらんどくだまつ (下松市大手町 2 丁目 3-1)		
共催団体	下松消費者連絡会		
テーマ	新しい食品表示制度について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任 庄井貴昭		
参加人数	40 人	参加者公募	無し
プログラム	14:00 開会・オリエンテーション 14:10 情報提供 「新しい食品表示制度について」(30分) 14:40 質問カードの記入・休憩(15分) 14:55 意見交換(30分) 15:25 アンケート記入・閉会		
準備	下松消費者連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで和気あいあいと楽しく話ることができて良かった。</li> <li>・表示に対する関心が高まったことが有意義だった。</li> <li>・お茶しながらの意見交換は発言しやすくて良かった。</li> <li>・時間が短くて残念でした。Q&amp;Aではもっと時間を取って欲しい。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No. 27-3

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 9 月 3 日 (木) 10:15~12:00		
場所	コープやまぐちコミュニティセンター (山口市小郡下郷)		
共催団体	山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち		
テーマ	新しい食品表示制度について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任 庄井貴昭		
参加人数	30 人	参加者公募	無し
プログラム	10:15 開会・オリエンテーション 10:20 情報提供 「新しい食品表示制度について」(45分) 11:05 グループワーク・質問カードの記入(30分) 11:35 意見交換(20分) 11:55 アンケート記入・閉会		
準備	山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち ・参加者の募集、事前質問の受付 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークで、お互いに理解を深めることができた。</li> <li>・人数も少ない方が、疑問点もすぐに聞くことができている。</li> <li>・情報を知る良い機会になった。</li> <li>・意見交換をすることにより、わからないところがはっきりする。</li> <li>・「機能性表示制」について国の審査を受けていないということで、悪いイメージを持っていたが、消費者にとっても選択肢が増える等のメリットがあることがわかった。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No. 27-4

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 10 月 7 日 (水) 13:30~15:10		
場所	岩国総合庁舎 (岩国市三笠町 1 丁目 1 - 1)		
共催団体	岩国消費生活連絡会		
テーマ	検疫所における輸入食品等の監視について		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課 課長 後藤 成生		
参加人数	25 人	参加者公募	無し
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:35 情報提供 「検疫所における輸入食品等の監視について」(45分) 14:25 質問カードの記入(15分) 14:40 意見交換(30分) 15:10 アンケート記入・閉会		
準備	岩国消費生活連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保(スクリーン有り) ・備品準備(マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン、プロジェクター等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・輸入品の多さにびっくりした。 ・ニュース等ではわからないことも多いですが、資料もありとても参考になった。 ・輸入食品の監視がどのように行われているのかがよくわかった。 ・これからTPPなどすごく不安を感じている。機会があれば、またお話しを聞いてみたい。		

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 10 月 21 日 (水) 10:00~11:30		
場所	J A 周南 新南陽支所 (周南市清水 1 丁目 9 番 5 号)		
共催団体	J A 周南女性部西ブロック支部		
テーマ	検疫所の食品衛生監視員の仕事		
情報提供者	厚生労働省 広島検疫所 食品監視課 課長 平井 秀和		
参加人数	56 人	参加者公募	無し
プログラム	10:00 開会・オリエンテーション 10:05 情報提供 「検疫所の食品衛生監視員の仕事」(45分) 10:50 質問カードの記入・休憩(10分) 11:00 意見交換(20分) 11:20 アンケート記入・閉会		
準備	J A 周南女性部西ブロック支部 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(スクリーン、マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン、プロジェクター 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・検疫所のしくみや、食品衛生監視員の仕事がよくわかった。 ・人前では発言しにくいので、このような形式(質問カード)は良かったと思います。 ・話がむつかしく(専門的すぎて)、理解できなかった。 ・輸入食品について、検査があることは知っていたが、段階があることや、輸入時だけでなく、輸出国への支援、調査、事前相談が大切だと知ることができた。		

## 意見交換会事例

No. 27-6

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27 年 12 月 17 日 (木) 13:30~15:00		
場所	柳井市文化福祉会館 (柳井市柳井 3 7 1 8)		
共催団体	柳井広域消費生活問題実行委員会		
テーマ	食品中の放射性物質について		
情報提供者	山口県環境保健センター 専門研究員 高林久美子		
参加人数	33 人	参加者公募	無し
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:35 情報提供 (45 分) 「食品中の放射性物質について」 14:20 質問カードの記入・休憩 (10 分) 14:30 意見交換 (20 分) 14:50 アンケート記入・閉会		
準備	柳井広域消費生活問題実行委員会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備 (プロジェクター、スクリーン、マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・知らないことが、少しわかったので良かった。 ・話の内容は難しかったが今まで間違った情報を信じていたと思うので色々と聞くことができて良かった。 ・事前に講義の内容がわかっていたら、予備知識を持って参加出来る。 ・評価するが、テーマが難しく、何を質問したらいいか分からなかった。		

## 意見交換会事例

No. 27-7

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 1 月 27 日 (水) 13:30~15:00		
場所	沖浦農村環境改善センター (周防大島町戸田 929-1)		
共催団体	周防大島町消費者連絡会		
テーマ	検疫所における輸入食品等の監視について		
情報提供者	厚生労働省 広島検疫所 食品監視課 課長 平井 秀和		
参加人数	30 人	参加者公募	無し
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:35 情報提供 「検疫所における輸入食品等の監視について」(45分) 14:20 質問カードの記入・休憩 (10分) 14:30 意見交換 (20分) 14:50 アンケート記入・閉会		
準備	周防大島町消費者連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備 (プロジェクター、スクリーン、マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・輸入食品についての講演等は聞いたことがなかったので、大変参考になった。 ・わかりやすい説明で、興味がより深まりました。 ・食の安全が守られていることに安心感をおぼえました。 ・話が時間をオーバーしたのが気になりました。		

## 意見交換会事例

No. 27-8

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 27 年 10 月 15 日 (木) 13:00~14:50		
場所	山口県セミナーパーク (山口市秋穂二島)		
共催団体	山口県行政書士会		
テーマ	食品衛生法に基づく営業許可手続きについて 食品衛生法、食品表示法に基づく規制について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任 庄井貴昭		
参加人数	17 人	参加者公募	有り
プログラム	13:00 開会・オリエンテーション 13:05 情報提供 「食品衛生法に基づく営業許可手続きについて」(30分) 13:35 情報提供 「法令遵守について(食品衛生法、食品表示法)」(30分) 14:05 質問カードの記入(15分) 14:20 意見交換(25分) 14:45 アンケート記入・閉会		
準備	山口県行政書士会 ・参加者の募集 ・会場確保 ・備品準備(スクリーン、マイク)  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(プロジェクター、パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・一方的な情報提供だけでは理解が難しいことも、質問できることで理解が深まりました。 ・時間が短かったが、よく理解できました。 ・行政書士として、何ができるのか?許可だけでなく、周辺の法令についても教わって勉強になりました。		

## 意見交換会事例

No. 27-9

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 27 年 11 月 17 日 (火) 10:00~11:30		
場所	山口県立農業大学校 (防府市)		
共催団体	山口県農林総合技術センター農業担い手支援部山口県立農業大学校		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任 庄井貴昭		
参加人数	73 人	参加者公募	無し
プログラム	10:00 開会・オリエンテーション 10:05 情報提供 「食品表示制度について」(30分) 10:35 質問カードの記入(15分) 10:50 意見交換(30分) 11:20 アンケート記入・閉会		

No. 27-10

形式	パネルディスカッション		
開催日時	平成 27 年 11 月 6 日 (金) 13:30~16:00		
場所	山口県労働者福祉文化中央会館		
共催団体	一般社団法人山口県食品衛生協会		
テーマ	食品衛生、食品表示、ノロウイルス、異物混入 等		
情報提供者	サラヤ株式会社 サニテーション本部 総括部長 砂川晃一		
参加人数	102 人	参加者公募	有り
プログラム	13:30 開会 13:40 基調講演(60分) 「感染拡大を防ぐ!ノロウイルス対策5つのポイント」 14:50 意見交換(70分) 16:00 閉会		
パネリスト	○コーディネーター 山口県立大学 看護栄養学部 栄養学科 教授 人見英里 ○パネラー サラヤ株式会社、山口県地域消費者団体連絡協議会、山口県消費者団体連絡協議会、山口県漁業協同組合、山口県食品衛生協会、山口県環境生活部生活衛生課		



## 意見交換会事例

No. 27-11

形式	工場見学		
開催日時	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 13:00~16:00		
場所	<p>宇部蒲鉾株式会社 (宇部市大字川上 6 9 7 - 2 0) 業種: 水産食料品製造業</p> <p>( 事業概要 )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料品の加工及び販売</li> <li>・主に蒲鉾の製造販売</li> </ul> (主なブランド: 新川、嶺雪、銀雪、蒲さし)</p> <p>株式会社アースクリエイティブ (宇部市大字山中 7 0 0 番 1 7) 業種: 食品リサイクル業</p> <p>( 事業概要 )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品廃棄物の飼料化</li> <li>・一般・産業廃棄物収集運搬業</li> </ul> (主なブランド: きららエコフィード)</p>		
共催団体	山口県食品ロス削減推進協議会		
テーマ	食品ロス、食品衛生等		
参加人数	20 人	参加者公募	有り
プログラム	<p>12:30 山口県庁 (集合)</p> <p>13:15 宇部総合庁舎 (集合)</p> <p>13:30 宇部蒲鉾(株) 製造工程見学</p> <p>15:00 (株)アースクリエイティブ リサイクルセンター見学</p> <p>16:30 宇部総合庁舎 (解散)</p> <p>17:15 山口県庁 (解散)</p>		

## 意見交換会事例

No. 27-12

形式	工場見学		
開催日時	平成 27 年 11 月 12 日 (木) 13:00~16:00		
場所	<p>株式会社イズミ          本 社：広島県広島市東区二葉の里三丁目 3 番 1 号          店舗地域：広島県、岡山県、山口県、島根県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、兵庫県、香川県、徳島県 他</p> <p>〔事業概要〕          ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャンダイジング・ストア (GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業</p> <p>見学施設：ゆめタウンイズミ 新南陽店          場 所：周南市清水 2 丁目 2-1</p>		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品衛生、食品表示 等		
参加人数	24 人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13:00 開会・オリエンテーション          13:05 情報提供          「食品衛生、食品表示等の食の安心・安全に向けた取組」          (45分)</p> <p>13:50 質問カードの記入 (10分)          14:00 意見交換 (20分)          14:30 移動 → イズミゆめタウン新南陽店          15:00 食品販売店舗見学 (60分)          16:30 アンケート記入・閉会</p>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売業者の苦勞がわかった。立場を変えれば大変さがよくわかる。しかし、「表示」はしっかりととして欲しい。</li> <li>・バックヤードでの衛生管理等については、全く想像もしていなかった。トラブルが起きないように様々な方法で対応していることを知りました。</li> <li>・ノロウイルス対策や品質管理の方法など勉強になった。</li> <li>・具体的な活動の話が聞けて良かった。今後の買い物時の参考になる。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No. 27-13

形式	工場見学		
開催日時	平成 27 年 11 月 12 日 (木) 13:00~16:00		
場所	<p>株式会社丸喜          本 社：山陽小野田市大字西高泊 680-7          店舗地域：山口市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、下関市          事業概要：スーパーマーケット</p> <p>見学施設：まるき惣菜センター          場 所：山陽小野田市大字西高泊 680-7</p>		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品衛生、食品表示 等		
参加人数	21 人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13:00 開会・オリエンテーション          13:05 情報提供          「食品衛生、食品表示等の食の安心・安全に向けた取組」          (40 分)</p> <p>14:00 食品製造施設見学          16:00 意見交換 (30 分)          16:30 アンケート記入・閉会</p>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の衛生管理への取組が良くわかった。見えない所で管理されていることによって、より安心・安全な食品が届けられるだろうということに感心した。</li> <li>・衛生的な管理システムで惣菜が作られていて、素晴らしい。</li> <li>・工場内見学ははじめての体験でした。整理整頓、清潔さにただただ驚きました。目を皿のようにして見させていただきました。本当に感服、感激しました。</li> <li>・本社工場等の直接研修は、会社理念を知ることができ、食品を大切に取扱いおられる事が理解できました。</li> <li>・これまで体験することがなかった部門だったので、研修できたことに意義があったと思う。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No. 27-14

形式	工場見学		
開催日時	平成 27 年 11 月 27 日 (金) 9:00~12:00		
場所	<p>一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター          場 所：山口市小郡上郷字流通センター西 9 0 1 - 2 1          事業概要：J A グループ山口と山口県の生協グループが平成 17 年に          設立した、食品の安全性を検査する機関です。生産者団          体と消費者団体が共同で設立し、農産物をはじめとして          食品の理化学検査や微生物検査を行い、山口県の食の安          心・安全を推進しています。</p>		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品検査 等		
参加人数	24 人	参加者公募	無し
プログラム	<p>9:00 開会・オリエンテーション          9:05 情報提供①                「食品の安全性」(ビデオ) (20 分)          情報提供②                「研究センター事業概要説明」(40 分)          10:00 食品検査施設見学          11:30 意見交換 (30 分)          12:00 アンケート記入・閉会</p>		
参加者の感想 (アンケート結果よ り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてこのような機関があることを知りました。</li> <li>・生協と農協の取組がよくわかった。</li> <li>・全く検査していないよりも自主的に検査する意識だけでも消費者にとっては安心です。</li> <li>・食品の精密な検査が出来ていて安心いたしました。農協の出荷前検査があることを初めて知りました。</li> <li>・一人では気づかない事でも、みんなで意見を出し合うことで「あ~そうなんだ」と思うこともありました。</li> <li>・グループ討議などがあった方が良いと思う</li> </ul>		